

## 中学2年 道徳授業案

日時 平成25年2月22日(金)  
生徒 2年C組 男子19名 女子19名 計38名  
授業場 2年C組 教室  
授業者 齊藤 貴文

---

- 1 主題名 『よりよい校風の樹立』 内容項目4-(7)
- 2 資料名 「僕たちの学校」 (松原好広編著, 生徒と共に語り, 共に考える中学校道徳『自作資料集』, 明治図書)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値

ツイッターやフェイスブックをはじめとする高度な情報化社会が作りだしたSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は人と人とのつながりを容易にするだけでなく、グローバルな広がりを実現させた。しかし、その広がりには実は表面的なものであり「一緒だけど、ひとり」という所属感や連帯感を感じにくいまま、私たちは他者とつながり、広がりつつけているのではないだろうか。

私たちが実感する本当の所属感や連帯感というのは、共同体において協同体験をおすことで培われていく。協同体験によって、人と「かかわる力」が身に付き、よりよい個・よりよい集団になることに喜びを感じ、所属感や連帯感が実感できると考える。

中学生という時期において、「学びの共同体」としての「学校」における「校風」に思いを馳せることは、所属感や連帯感、そして学校への愛着を高めていくことにつながっていく。そのことを通じて、学校は自分にとってかけがえのない存在であることや多くの先輩や教師の努力の連続性の中にあることに気づかせていくこと、そしてその中における自分の役割について考えさせることは最高学年へと進級を迎える今、大変意義深いことと考える。

本時では、「校風のある学校」について考えることを通じて、生徒が所属する学校・学級への所属感や連帯感を一層高め、よりよい校風の樹立のためには学校への愛着や人と人との協力体制・信頼関係、そして一人ひとりの行動が必要であることを感じさせたい。

#### (2) 資料について

今回の授業で扱う「僕たちの学校」は、主人公である僕が、友だちである亮一と「校風のある学校」について考えることを通じて自分たちが所属している「学校」、そしてその「校風」に思いを馳せることから、よりよい学校・校風をつくっていくのは生徒一人ひとりだということに気づいていく話である。資料の中に出てくる東中と西中の校風の違いから、自分たちの学校のよさや課題を考えさせることを通し、学校への所属

感を高め、仲間と共に協力し、よりよい校風の樹立・発展に努めていこうとする態度と共に、自分たちの学校への愛情を素直に感じようとする気持ちを持たせたい。

4 本時案

(1) 本時のねらい

学級や学校の一員としての自覚を持ち、協力してよりよい学校を築いていこうとする態度を育てる。

(2) 本時の展開 \_\_\_\_\_中心発問 ○発問 △補助発問 [ ]予想される生徒の反応 □指示

主な学習活動	教師のかかわり	評価
<p>1. アンケートをもとに学校生活の意識を交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈どんなところが好き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境が整っていること</li> <li>・あいさつができる</li> <li>・行事で協力的</li> <li>・団結力がある</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈好きになれない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手なところ</li> <li>・マナーが悪い</li> <li>・消極的なところ</li> </ul> </div> </div> <p>2. 資料「僕達の学校」を読んで校風の違いを押さえ、発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈西中と東中はどんな学校だろう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東中は心がこもってる、みんながやっている</li> <li>・西中は形式的、サボることばかり考えている</li> </ul> </div> <p>3. 資料の後半を読み、校風のある学校を考えるを通して自分たちの学校を振り返り、よりよい学校とはどんな学校かを交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈附中は東中みたいに通いたくなる…〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来客にも挨拶することができている</li> <li>・あいさつができて明るい学校になっている</li> <li>・行事に一生懸命掃除や行事にも熱を注いでいる</li> <li>・学校生活は楽しい</li> <li>・何事にもきちんと取り組んでいる</li> <li>・一人一人がつくっている感じがしないから</li> <li>・あいさつはできるけどやらされている</li> <li>・本当に心がこもっているとは言い切れないから</li> <li>・義務的・みんなで作っている感じがしない</li> </ul> <p>〈自分は附中をどんな…〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが心から挨拶するような学校</li> <li>・一人ひとりが積極的に取り組む学校</li> <li>・みんなが希望・信念・志を持って生活できる</li> <li>・自分は関係ないと思わない学校</li> </ul> </div> <p>4. 詩を掲示し、そこから過去の先輩たちの気概を感じ取らせ、自分の生き方を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈どんな思いが伝わってきますか〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここからいい学校をつくるぞ</li> <li>・素晴らしい未来をつくるのは私たちだ</li> <li>・頑張るぞ</li> </ul> </div>	<p>1. アンケートをもとに学校生活の意識を交流させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【事前アンケート】</p> <p>○附中（生）のどんなところが好きですか</p> <p>○附中（生）のどんなところが好きになれないですか</p> </div> <p>2. 資料「僕達の学校」を読んで校風の違いを押さえる。</p> <p>○西中と東中はどんな学校だろう。</p> <p>△西中と東中は何ができていた（できていなかった）かな。</p> <p>○どっちの学校に通いたいですか。</p> <p>3. 資料の後半を読み、校風のある学校を考えるを通して自分たちの学校を振り返り、よりよい学校とはどんな学校かを交流しあう。</p> <p><u>附中は東中みたいに通いたくなる学校だろうか。</u></p> <p>△今の自分は西中・東中どちらの生徒（に近い）だと思いますか。</p> <p>○自分は附中をどんな学校にしていきたいですか。</p> <p>△そんな学校にしていくのは誰なんだろう。</p> <p>4. 詩を掲示し、過去の先輩たちの気概を感じ取らせ、自分の生き方を考えさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">百四羽の若わしが 大空に向かって いつせいにほばたいた かがやかしい発進だ。</p> <p>過去の学校には ぼくらはなく歴史もない そこにあるのは ぼくらの手で開かれる すばらしい未来だ</p> <p>みんなが がつくりスクラムくんで たくましく 大きく生きよう</p> </div> <p>△詩からどんな思いが伝わってきますか。</p> <p>□自分はこれからどのように過ごしてい</p>	<p>○学級や学校の一員としての行動のあり方について考えようとしていたか</p> <p>○今後の自分の行動のあり方について考えようとしていたか</p>

<p>5. 説話を聞く。</p>	<p>きたいと思いませんか。感想を書きましょう。</p> <p>5. 説話をする。</p>	
------------------	---	--